



シュバル 12月活動の様子



12月に入り、寒さが一段と深まってまいりました。こどもたちは、かわらず元気いっぱい外遊びや活動に取り組んでいます。

さてシュバルでは、12月13日（土）に「陶芸体験」を実施しました。今回は、同法人内の生活介護事業所の活動の一環で行っている陶芸の設備を利用して、7名のこどもたちと3名の保護者の方が参加しました。陶芸を体験する前から不安を募らせるこどもたちもいましたが、見本の作品を見てもらうことで「どんなものを作ろうかな?」「僕はコップを作りたい!」と、こどもたちのワクワクする声も多く聞かれました。実際に体験が始まると、お皿やコップ、馬の置物、型抜きをした箸置きなど、1人ひとり自分の作りたいものを思い浮かべながら楽しく作ることができました。また、思いがけない才能を開花させたこどもや、できた作品をみんなに見てもらおうと持ち歩いて紹介するこどももあり、微笑ましく思いました。体験後には、「また作りたい!」「出来上がりが楽しみ!」との感想が多く聞かれ、楽しい思い出の一つとなったようでした。焼き上がりにはまだまだ時間がかかりますが、こどもたちが楽しみに待てるよう、一緒に気分を高めていきたいと思います。

引き続き、こどもたちの笑顔が溢れる楽しい活動が提供できるよう努めてまいります。今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。

